

## 「エルサルバドル」ってどんな国

所属	愛知県立名古屋特別支援学校	実践者	伊藤 篤志
対象	児童・生徒、教員、PTA(保護者)	時間数	1時間×7単位
場所	各教室、多目的室、会議室など	実践教科	全校朝会、教員研修、PTA役員会
ねらい	<p>・エルサルバドルという国を通じて、「豊かかって何だろう?」「幸せってなんだろう?」など、日本で当たり前になっていることの振り返りをする。</p> <p>・「学校があるってありがたい」と再確認し、教育の大切さを知る。</p>		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	<p>◆貧困とは何? 学校・教育の大切さ(負の連鎖)を利用 「教員研修」</p> <p>初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修の講義を利用して参加型の学習形態を使って、開発途上国の現状(負の連鎖)を考える研修を実施した。ブレインストーミングを使い知っていることを書き出し、負の連鎖カードを並べてエルサルバドルの現状を知ってもらった。</p>	<p>&lt;準備物&gt; 模造紙、マジック パワーポイント 負の連鎖カード、 中米・エルサルバドルの基礎情報プリント コーヒー・耐震・ゴミ問題・治安について情報プリント</p>
	2	<p>◆学校があるってありがたい・教育の大切さ 「PTA(保護者)研修」</p> <p>PTA役員会を利用して役員会後にブレインストーミングを使って「中米・エルサルバドル」について知っていることを書き出し、その後現状のエルサルバドルをパワーポイントで紹介した。</p>	<p>&lt;手法&gt; ブレインストーミング 対比表</p>
	3	<p>◆授業「エルサルバドルはどこ?」</p> <p>(1) 中学部(中学校)での授業 パワーポイントを使って世界の国々の中の「エルサルバドル」の紹介をした。日本とエルサルバドルの違いを考えた。</p>	<p>&lt;準備物&gt; エルサルBOX パワーポイント エルサルバドル地図</p>
	4	<p>(2) 高等部(高校)での授業 パワーポイントを使って世界の国々の中の「エルサルバドル」の紹介をした。日本とエルサルバドルの違いを考えた。</p>	
	5	<p>◆全校朝会</p> <p>10月の全校朝会(小・中・高)でエルサルバドルの紹介をする。</p>	
	6	<p>◆学校給食</p> <p>10月の給食献立に「エルサルバドルの日」を一日設けた。</p>	<p>献立表 レビ</p>
	7	<p>◆授業「ピニャータであそぼう」</p> <p>(1) 重複障害学級での授業 エルサルバドルの民族衣装を着て記念撮影をし、ピニャータを使って中米の文化に触れた遊びをした。</p> <p>◆PTA(保護者)通信</p> <p>PTAだよりにエルサルバドル紀行を寄稿した。</p>	<p>パワーポイント 音楽・ビデオ ピニャータ</p> <p>保護者への配布</p>
成果	<p>帰国後、管理職という立場で授業を考えた時に実際に子供たちに向かう授業が無かった。しかし、エルサルバドルに行ったことを聞きつけた教員からの要請で児童・生徒に授業を行う時間をもらうことができた。管理職という立場で教員に対する研修で、学校の意義や大切さを考える機会が作れた。</p>		
課題	<p>肢体不自由特別支援学校に通学する児童生徒は、教科の学習が可能な児童生徒から重度重複障害で寝たきりの児童生徒まで幅広く在籍する。重度重複障害の児童生徒の授業を工夫するのが難しかった。</p>		
備考	<p>管理職(授業を受け持っていない)としての立場で何ができるか? 今回の経験をどんな方法で? 誰に? 還元ができるか? 考える機会になった。</p>		

## [ 授業実践の詳細 ]

### 1 時限目「貧困とは何？学校・教育の大切さ(負の連鎖を利用)」

#### 1 教員の活動の流れ

- ① アイスブレイキング  
夏休みの思い出を話題に自己紹介をする。
- ② エルサルバドルといえば？  
・エルサルバドルと聞いて思いつくことをブレインストーミングで書き出す。  
・書き出した内容をグループ分けする。
- ③ エルサルバドルの概要を解説書で読む。  
・中米、エルサルバドル基礎・生活情報などを理解する。
- ④ 学校に行けない(負の連鎖)を考える。  
負の連鎖を作成する。
- ⑤ エルサルバドルの体験を説明する。  
パワーポイントで説明する。
- ⑥ エルサルバドルと日本の違い(対比)を話合う。  
対比表を作成する。
- ⑦ 貧困と教育の結びつき(大切さ)を考える。

#### この時限のねらい

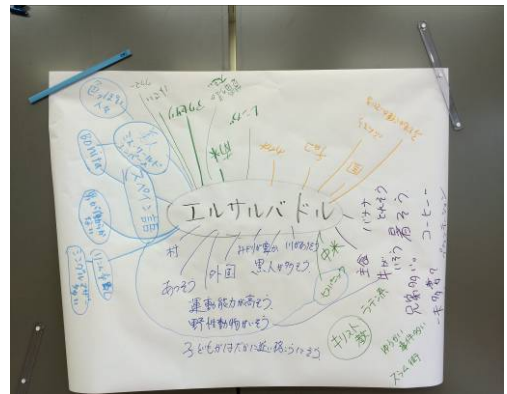
- ・貧困の悪循環(負の連鎖)について考える。
- ・「豊かかって何だろう?」「幸せって何だろう?」など日本で当たり前になっていることの再確認をする。
- ・「学校があるってありがたい」と再確認し、教育の大切さを知る。

#### 2 教員の活動の成果・反応

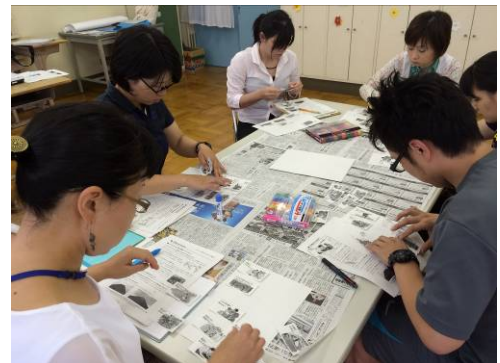
- ◇ 参加型の学習形態を実際に体験することができた。自分の授業にどう取り入れていくか考えるきっかけになった。
- ◇ 貧困から改めて教育の大切さ、自分たちの責任の大きさを感じた。
- ◇ 治安から平和の大切さを実感できた。

#### 3 使用した教材

- <教材1> ブレインストーミング
- <教材2> 対比表、負の連鎖表
- <教材3> パワーポイント(エルサルバドルの写真を中心に)
- <教材4> 中米、エルサルバドルの基本情報プリント
  - ・コーヒー産業について
  - ・火山国、地震について
  - ・ゴミ問題
  - ・治安
  - ・エルサルバドル料理



<エルサルバドルについてのブレインストーミング>



<負の連鎖を考える5年経験者教員>

## 2 時限目「学校があるってありがたい・教育の大切さ」

### 1 PTA（保護者）の活動の流れ

- ① アイスブレイキング  
学年・子どもの名前で自己紹介をする。
- ② エルサルバドルといえば？  
エルサルバドルと聞いて思いつくことをブレインストーミングで書き出す。
- ③ エルサルバドルの概要を解説書で読む。  
中米、エルサルバドル基礎・生活情報などを理解する。  
知っているコーヒーの産地をブレインストーミングで書き出す。
- ④ エルサルバドルの体験を説明する。  
パワーポイントで説明する。
- ⑤ エルサルバドルと日本の違い(対比)を話合う。  
対比表を作成する。
- ⑥ 貧困と教育の結びつき(大切さ)を考える。

### 2 PTA（保護者）の活動の成果・反応

- ◇ 参加型の学習形態を実際に体験することができた。学校が今後、授業にどう取り入れていくか問題定義できた。
- ◇ 貧困から改めて教育の大切さ、日本の教育のありがたいを感じた。
- ◇ 治安から平和の大切さを実感できた。

### 3 使用した教材

- <教材1> ブレインストーミング
- <教材2> 対比表、負の連鎖表
- <教材3> パワーポイント(エルサルバドルの写真を中心に)
- <教材4> 中米、エルサルバドルの基本情報プリント
  - ・コーヒー産業について
  - ・火山国、地震について
  - ・ゴミ問題
  - ・治安

#### この時限のねらい

- ・「学校があるってありがたい」と再確認し、教育の大切さを知る。
- ・「豊かかって何だろう?」「幸せって何だろう?」など日本で当たり前になっていることの再確認をする。



<エルサルバドルについてのブレインストーミング>



<コーヒーについてのブレインストーミング>



<保護者の活動の様子>

### 3-4 時限目「エルサルバドルはどこ？」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① 世界の知っている国を挙げる。  
自由に知っている国を出す。  
出てきた国を大陸別に整理する。
- ② エルサルバドルはどこ？  
世界地図からエルサルバドルと日本を探し、位置を確認する。  
エルサルバドルへの渡航の仕方を知る。
- ③ エルサルバドルを知る。  
数字を「日本語」と「英語」「スペイン語」で比較する。  
エルサルバドルの大きさ(面積)の比較を日本(九州の半分)とする。
- ④ エルサルバドルを体験する。  
パワーポイント(写真を中心)を観ながらエルサルバドルを知る。  
エルサルバドルボックス(JICA)の中の物に触れる。
- ⑤ エルサルバドルと日本の違いを話合う。
- ⑥ 「ありがたい」を考える。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 知っている国は、テレビなどニュースで扱っている国や実際に旅行した国が出た。
- ◇ 中米は子どもたちになじみが無く、中米がどこか理解できていない。
- ◇ ゲーム「uno」がスペイン語の「1」であることに驚いていた。
- ◇ 九州の白地図を利用してエルサルバドルの大きさを実感できた。
- ◇ エルサルバドルの治安や環境の写真を見て、日本の良さ(治安、環境)を実感できた。
- ◇ 日本で生活する中で「ありがたい」と感じることを発表する。

#### 3 使用した教材

- <教材1> 世界地図(白地図)
- <教材2> 中米・日本地図(白地図)
- <教材3> パワーポイント(エルサルバドルの写真を中心に)
- <教材4> エルサルボックス
- <教材5> スペイン語プリント(あいさつ・数字など)

#### この時限のねらい

- ・世界の中からエルサルバドルを探す。
- ・エルサルバドルを身近に感じる。
- ・日本とエルサルバドルの違いと同じところを見つける。



<中学部:パワーポイントでの授業風景>



<中学部:エルサルボックスの確認>



<高等部:授業風景>

## 5 時限目「全校朝会」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 学期一回の全校朝会(10月)を利用して、エルサルバドルでの活動の報告を行う。
- ② エルサルバドルを身近に感じる。
- ③ 給食の献立でエルサルバドルの伝統料理が出ることを知る。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 視覚支援(パワーポイント)により、エルサルバドルがどこにあるのか理解する。
- ◇ 給食を楽しみにできた。

### 3 使用した教材

<教材1> パワーポイント



<全校朝会の様子>



#### この時限のねらい

小学部、中学部、高等部の年齢差のある児童生徒を一同に集め、エルサルバドルでの活動の報告会を実施。

## 6 時限目「学校給食」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 「タッチでぽん！」(廊下に設置した情報発信機器)で給食の紹介をする。
- ② 「タッチでぽん！」でエルサルバドルの伝統料理を知る。
- ③ エルサルバドルで有名な「ププサ」が給食で出ることを知る。
- ④ エルサルバドル給食を楽しむ。

#### この時限のねらい

学校として食育に力を入れている。毎月、栄養教諭が工夫してご当地メニューで地産地消を紹介したり、児童生徒の考えた献立を出したりしている。その一環で、エルサルバドルを身近に感じる献立を提供した。

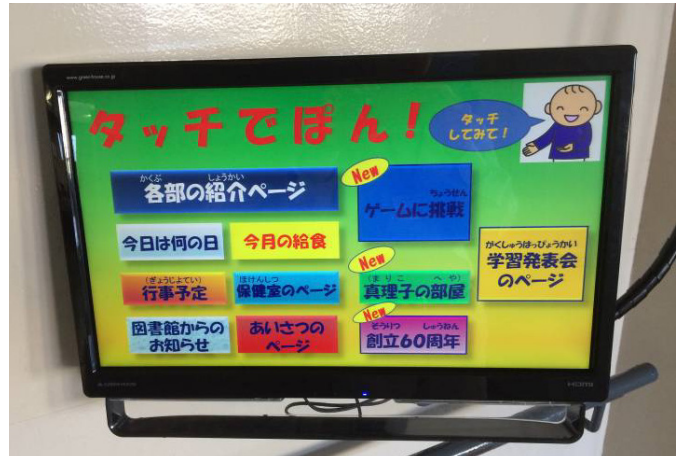
## 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「タッチでぼん」に触れることが多くなった。
- ◇ 視覚支援により事前に興味が持てた。
- ◇ 当日の給食を楽しみにできた。

## 3 使用した教材

### <教材1> タッチでぼん

液晶画面にタッチすることで画面が変わり、情報が現れるようにして興味を持たせる機器。毎月の給食の内容を画面上で写真によりわかりやすく視覚支援をする。



### <教材2> 給食レシピ

**エルサルバドル給食レシピ**  
愛知県立名古屋特別支援学校

**トリティージャ(コムサ)**  
6.5インチ(32g)1枚  
※自然解凍

**アロースネグリット**

鶏挽肉	40g
塩化米	0.2g
サフランライス用調味液(味の素)	4g
レッドキドニー(赤いんげん豆)(カゴメ)	17g
ソフリット(玉葱・人参・セロリ)(カゴメ)	15g

※レッドキドニーを茹で、茹で汁に米を浸す。脱水した米、調味液、ソフリット、レッドキドニーを回転釜に入れて炊く。

**パバコンウェイポ**

卵	20g
じゃがいも	30g
冷凍トマト(給食用)	15g
コンソメ	0.5g
塩・コショウ	適量

※サイコロに切ったじゃがいもをコンソメで煮る。冷凍トマトを入れ味を調えたら、卵を炒ってまとめる。

**アルボンディガス**

みつせ鶏のふわりわたんご(ヨコオ)	48g
ソーセージ(玉葱・人参)(ハイフフ)	50g
ダイドムール	20g
トマトピューレ	10g
コンソメ	0.5g
塩・コショウ・チリパウダー	適量
でんぷん	適量

※材料を回転釜に入れて煮る。味を調えて、でんぷんでまとめる。

**エルサル風スープ**

鶏皮(皮無し)5mmカット	10g
たまねぎ	30g
にんじん	10g
キャベツ	30g
セロリ	5g
コンソメ	1.5g
塩・コショウ	適量
白しょうゆ	1g
レモン汁	0.5g

※材料を回転釜に入れて煮る。味を調えて、最後にレモン汁を入れる。

**牛乳&ミルクコーヒー**

牛乳	200cc
ミルクコーヒー(大島食品)	8g

<給食のレシピ>



<廊下に設置してあるタッチでぼん>

## 7 時限目「ピニャータであそぼう」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① エルサルバドルを知ろう。  
全校朝会を思い出す。  
給食で食べた「ププサ」を思い出す。
- ② ププサの歌  
「ププサ」の作り方の歌を聴く。

### この時限のねらい

- 重度重複障害児のクラスでの授業。
- ・食べもの(ププサ)を思い出す。
  - ・音楽や踊りでエルサルバドルを体感する。
  - ・ピニャータで遊ぶ。

- ③ 国家斉唱・歓迎ダンス  
各学校で受けた歓迎レセプションのビデオを観る。
- ④ ピニャータであそぼう  
ピニャータの説明を聞く。  
ピニャータ割りを体験する。
- ⑤ エルサルバドルの民族衣装を着て記念撮影をする。

## 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 音楽やビデオでエルサルバドルを体験する。
- ◇ 「ププサの歌」の軽快なリズムを体感する。
- ◇ 視覚支援(ビデオ)で歓迎ダンスやピニャータ割りを鑑賞する。
- ◇ ピニャータ割りを体験して楽しむ。
- ◇ エルサルバドルの民族衣装を体験する。



<重複障害児学級 民族衣装で記念写真>

## 3 使用した教材

- <教材1> 全校朝会で紹介したパワーポイント
- <教材2> ププサを作っているビデオ、「ププサの歌」
- <教材3> 国家斉唱・歓迎ダンスのビデオ
- <教材4> ピニャータ割をしているビデオ
- <教材5> ピニャータ
- <教材6> エルサルボックス  
国旗、人形、楽器、民族衣装など



<重複障害児学級 ピニャータ割り>

# 全体を通して

## 1 授業の様子

授業を受け持っていない管理職として、どんな方法で学校の中で教師海外研修の報告や開発教育指導者研修の還元ができるか思い悩んで以下のような内容を行った。

- ① 教職員やPTA(保護者)に参加型研修の方法を体験してもらいながら、開発途上国の教育の現状を伝えることで、日本における教育の現状を「感謝、ありがたい」と言う言葉で伝えることを考えた。
- ② いろいろな機会にエルサルバドルの話をし、給食でエルサルバドルをアピールし、全校朝会で報告会を設定したりすることにより、教職員や児童生徒が興味を持ってくれた。教職員から授業をいただくことができた。
- ③ 中学生や高校生の授業は「ありがたい」をテーマに日本の治安や環境とエルサルバドルの治安や環境を比べながら今の自分たちが「ありがたい」を実感できるように工夫して生徒に感謝を伝えた。
- ③ 重度重複障害児の授業は、音楽やビデオによる視覚支援などを使ってエルサルバドルの民族衣装を着て記念写真を撮り、ピニャータ割りを楽しみエルサルバドルを体験できるように工夫した。
- ④ 最後に年度末に発行するPTA機関誌に体験記を載せてもらった。